

報告書抄録

ふりがな	はちやいせき							
書名	蜂屋遺跡							
シリーズ名	中ノ井川放水路事業に伴う発掘調査報告書							
シリーズ番号	3							
編著者名	小島孝修							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課				財団法人滋賀県文化財保護協会			
所在地	滋賀県大津市京町4丁目1番1号				滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2			
発行年月日	平成18年(2006年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査面積 (m ²)	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
はちやいせき 蜂屋遺跡	しがけん 滋賀県 りつとうし 栗東市 はちや おおはし 蜂屋・大橋	208	002	35度 01分 54秒	136度 00分 02秒	2,200	20030804 ? 20031203	中ノ井川 放水路事 業
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
蜂屋遺跡	集落跡	弥生時代～中世		土坑・溝・柱穴・ 井戸・落込		縄文土器・弥生土器・ 土師器・須恵器・陶 器・磁器・石器(ス クレイパー・打製石 斧)・土錘・瓦		
要約	<p>遺跡範囲東端部における発掘調査であり、縄文時代から中世にかけての遺構・遺物が検出された。縄文時代晩期と弥生時代の遺構・遺物は、蜂屋遺跡では初の検出例である。古墳時代から古代にかけては、落込状地形に流れ込むように周囲から溝が掘削されており、排水場所として機能していたと想定される。この落込状地形は、徐々に堆積が進んで湿地化していき、条里制の施工はこの段階ではなされていない。中世に入ると、落込状地形は埋没したようで、条里地割に沿った耕作溝や柱穴を多数検出した。時代を通じて、集落としての土地利用はこの地点ではほとんどなかったと思われる。全般的に出土遺物が少ないこともそれを裏付けている。</p>							